



SAP Ariba 

機能の概要

日本の e-文書法に関する機能強化

コンテンツオーナー: Yu Imai、SAP Ariba
一般提供予定: 2018 年 11 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

新機能: 日本の e-文書法に関する機能強化

実装の難易度
関連する地域

ロータッチ/容易
国限定

お客様の課題

日本向けとして提供されていた従来の e-文書機能には、監査プロセスで必要となる重要な 2 つの機能が不足していました。1 つはデータを検索してダウンロードする機能です。これは、特に監査担当が大量の検索結果を処理する場合に重要となります。2 つめは、10 年間ではなく 11 年と 1 カ月間ドキュメントをアーカイブする機能です。監査のリードタイムを考慮すると、アーカイブできる期間が延長される必要があります。

SAP Ariba でこの課題に対応

- 検索結果の合計数が UI に表示されます。
- 検索範囲の上限が 1 カ月に延長されます。
- ユーザーがダウンロードする検索結果のバッチを識別できるようになります (例: ダウンロード結果 #1-1000、#1001-2000 など)。
- ドキュメントのアーカイブが 10 年間ではなく 11 年と 1 カ月間になります。

実現される主なメリット

これらの更新により、監査担当のユーザー操作性が大幅に改善されます。

ソリューション領域

Ariba Network

実装に関する情報

この機能は、通常の設定で「オン」になっています。バイヤーおよびサプライヤの管理者ユーザーは、Ariba Network でこのルールを有効化する必要があります。

前提条件および制限事項

- この機能を使用するには、[長期間アーカイブ] をオンにする必要があります。
- 請求書の販売先、出荷先、またはサプライヤ所在地のいずれかが日本国内の住所となっている必要があります。